

一般社団法人

全国高等学校PTA連合会

会報

No 92

一般社団法人全国高等学校PTA連合会

(連絡先) 〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町2-1 (奥田ビル) TEL03-5835-5711 FAX03-5835-5757

発行人 泉 満 URL <http://www.zenkoupren.org/> eメール info@zenkoupren.org

一般社団法人全国高等学校PTA連合会会長

泉

満

2020年度(令和2年度)を振り返って

今(2021.3)も新型コロナウイルス感染症拡大が持続する禍中では、基本姿勢としては取り組みを停止しつつ徐々に再開をはかる一方、基本的には取り組みを慎重に進めつつ、何かあれば停止するという、両面作戦を柔軟にとりながら、痛みを耐え、一步一步進むことが求められています。「すべての物事に正解や万全の解決策があるわけではない」と言われます。しかし、私たちは「正解と見えるもの」に飛びつき易く、寛容さを失うことが多々あります。この危機の中でこそ、「どうにも答えの出ない、どうにも対処のしようのない事態に耐える能力」あるいは「性急に根拠や理由を求めず、不確実さの中にいることができる能力」が必要で、この能力を「ネガティブ・ケイパビリティ(negative capability)」と呼びます。イギリスの詩人ジョン・キーツが「一七七年、弟宛の書簡に表明されているものです。」

私たちは「能力」といえば、これと真逆な、才能や才覚、物事の迅速な処理能力、いわゆる「ポジティブ・ケイパビリティ(positive capability)」を性急に求めます。今日の学校教育や職業教育でも強調されることです。しかし、それは「理解したつもり」の浅い理解のみで、その本質を取り逃がす危険性を孕んでいます。まずは、性急な自己主張を控え、物事や他者との関係を先入観に固守せず、寛容に見つめる柔軟な姿勢がなければ、物事の本質や他者との真の共感を得ることはできないと警告しています。私たちは正しく恐れ、慎重に状況判断しながら、「答えのない」社会状況の中で、一步一步慎重に進む忍耐力、底力を持つことが求められています。この危機を新たな機会に、「PTAの底力」を試された2020年でした。

本会創立以来経験のない「激動の一年」を記録の意味も込めて記憶を紐解き「2020年」を振り返ります。柴山文科大臣(当時)を来賓に迎えた前年度の華々しい総会とはまるで様子の違った、誰にも会えない異様な雰囲気の中、「書面」定時総会からの新年度スタートです。未だ暗闇が覆う社会状況の中、前へ進めなければならぬ

意気込みと一方でその焦りから早々に所信をホームページに掲載いただき「進化するPTA」を旗印に不安だらけの出航です。「書面」定時総会の円滑な運営やその法的根拠資料作成にご理解ご協力をいただいたすべての皆さまに心から感謝申し上げます。

新型コロナウイルスに振り回され、当初から様々な制約を余儀なくされるなか、なんとか前へ進めるため新たな手法として最初に取り組んだ機関連営の理事会・各委員会、通信環境の良否はあるもののスムーズに移行したと思えます。さらに年度2回開催する会長・事務局長研修会もオンラインに挑み、不安感満載の中モニターに100窓(顔)がきれいにマス目の中に並んで映し出された瞬間は、驚かされた、という驚きと、対面できないまま今期終わると諦めていた方々と「云えた感動と感謝が複雑に頭を駆け巡りました。まさに「場所」「移動時間」に制約のないこの手法は今後の新たな様式としての選択肢となるでしょう。

ただし、この新しい手法

今号の主な内容	会長挨拶	1~2頁
	令和2年度 全国高P連の活動報告	2頁
	地区トピックス	3~7頁
	北海道地区/東北地区/関東地区/東京地区/東海地区/中国・四国地区	
	全国高等学校PTA連合会 令和2年度教育活動・PTA活動アンケート	8~13頁
	第70回全国高等学校PTA連合会大会島根大会(ご案内)	14~15頁
	賠償責任補償制度のお知らせ	16頁

いたしました。昨年策定した新ガイドライン採用最初の全国大会として希望と学びに満ち溢れた大会となるはずでした。未だ先が見通せない状況ですが、この困難を必ず乗り越え2020年に「コロナに打ち勝つ大会」ではなく「コロナと共生する大会」として新たな様式を備えた、渾身の大会になることを期待しています。

地区大会も全地区「中止」となり万端に準備も整いながら苦渋の決断をせざるを得なかったことは共催者としてとても残念でなりません。これを機として、多様な発信手法や柔軟な参加様式を採用し、持続可能な研修交流事業として新たな様式への転換が求められています。

年度までもなく萩生田文科大臣とまるで伏魔殿のような大臣室にて対面。「学校再開後の学校現場の様子について」の題目設定ありきヒアリングでしたが、地域によって異なる事情実情を伝える好機ととらえ、理事との連携による各地区情報収集エビデンスのもと「学校休業により顕在化する多様な格差」「教職員の負担軽減」「授業時間の確保」「大学共通テストへの柔軟な対応」「就職希望者への要望」を直に発信いたしました。

秋には、「新しい時代の初等中等教育の在り方特別部会」での「中間まとめ」段階においてもヒアリングの機会（オンライン）をいただき、「誰一人取り残すことのない令和の日本型学校教育の構築を目指して」のなかで前述同様の意見収集エビデンスのもと「格差」「人的配置による教職員の負担軽減」「空調設備等の施設充実」「GIGAスクール構想の現実」を発信いたしました。私たちの使命は本会加盟4000校215万の子どもの事情・実情を文科省等の関係機関へ発信し、子どもたち一人一人が自ら未来を切り開くチカラを育む環境作りを支援することです。その発信力を一層強化するため加盟連合会との絆をより深めて参りましょう。

ポスト・コロナ社会において、私たちの切り裂かれた社会と教育における絆を新たな環境のもとで如何に再構築していくか、大きな課題です。もう、もたらぬ道には戻りません（もちろん、戻ることを希望しています）。この激動の一年で得た知識や技術を今後にも利用し更なる探求、実践を進めましょう。残り少ない時間（2020）、進化の足跡を残したいと思います。

令和二年度 全国高P連の活動報告

令和2年度定時総会開催

令和2年度定時総会は、コロナ禍のため6月27日（土）本会会議室にて、書面総会で執り行いました。会員である都道府県市高等学校PTA連合会からご提出いただいた議決権行使書を集計した結果、第1号議案・第2号議案とも可決されました。その後、web開催いたしました「第二回理事會」において泉満氏が新会長に選出されました。



第1回 学校再開後の学校の状況に関する意見交換会

令和2年7月28日（火）、文部科学省 大臣室にて「第1回 学校再開後の学校の状況に関する意見交換会」が開かれました。（公社）日本PTA全国協議会と（社）全国高等学校PTA連合会の二団体が参加いたしました。泉満会長が本会を代表し、意見を述べてまいりました。

※学校再開後の教育委員の取り組み及び教職員の勤務状況について
※国への要望・今後希望する支援策について
詳細については文部科学省ホームページにてご覧いただけます。

文部科学省「中央教育審議会関係団体ヒアリング」

令和2年10月28日（水）文部科学省からの依頼を受けまして、「中央教育審議会関係団体ヒアリング」にて本会を代表して泉満会長がWEBにて意見を述べました。中央教育審議会初等中等教育分科会及び新しい

時代の初等中等教育の在り方特別委員会において、高校教育の在り方についての方向性について保護者の立場からお伝えいたしました。

*中央教育審議会答申案の作成に向けた骨子

誰一人取り残すことのない「令和の日本型学校教育」の構築を目指すべく、多様な子供たちの資質・能力を育成するための、個別最適な学びと、社会とつながる協働的な学びの実現。

保護者向け

薬物乱用防止パンフレット

NO! DRUG
ただ一度の過ちが子どもの未来を奪います。

令和2年度「薬物乱用防止パンフレット」が完成し、全国の都道府県市高等学校PTA連合会加盟校へ順次お届けしております。

各学校の担当者には新入生保護者への配布をお願いいたします。ご家庭で、PTA等の研修会で、ご活用ください。



宅配便でお届けしています



2月6日（土）オンライン開催しました第5回理事會・令和2年度全国会長事務局長研修会でも配布活用しました



※このパンフレットは、一般財団法人日本宝くじ協会の社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです

北海道地区

北海道高等学校PTA連合会

PTA活動の原理原則を見つめて

コロナ禍による北海道独自の緊急事態宣言期間を含め、昨年三月～五月の三箇月にわたる休校は、子どもたちの学習や部活動などの学校生活だけでなく、PTA活動にも深刻な影響がありました。本連合会においても、六月の年次総会は書面開催となり、全道大会も中止を余儀なくされました。各単Pの活動でも、

子どもたちにとってPTAの最大の出番である学校祭が中止されたり、PTAの会合場所も学校を避けるなどの感染防止策を徹底する中で、事業内容の精選や効率化を図りながら活動が進められました。

このような中であつても、比較的感染が広がっていない支部では、いくつかの事業を実施するこ

とができましたので紹介します。

十月、北見支部では百名余が参加し定例の秋季研修会を開催しました。始めに「ウイズコロナを踏まえた生徒理解と生徒支援」と題して、開善塾教育相談研究所長の藤崎育子氏による講演が行われ、県教育委員や教育相談員としての豊富な経験をもとに、不登校やいじ

めなどの課題に保護者と教師が協力していくことの大切さなどについてお話しいただきました。続いて、三グループに分かれて分科会が開催され、事例発表や研究協議が行われました。そのうち、「地域の教育力の充実とPTA活動」分科会の斜里高校PTAの発表では、少子化などによる生徒数の減少により教育活動・PTA活動とも限界を感じる

えた報告があり、グループディスカッションでは、さらに、多方面からの事例が交換されました。

また、本連合会が、例年実施している、生徒と保護者がじっくりと本音で語り合う「高校生と語るつどい」については今年度は予定七支部のうち二支部での実施にとどまりましたが、「我々の住む町の活性化」等をテーマとして活発な話し合いを行うことができました。

今般のコロナ禍により生じた、PTA活動への様々な制約で閉塞感が広がった面はありましたが、一方で、PTA活動の在り方を原理原則に立ち返

東北地区

福島県高等学校PTA連合会

タイムリーにユースフルに

～コロナ禍対応アンケート～

昨年2月末の突然の学校休校、緊急事態宣言に始まる新型コロナウイルス感染症対応により、福島県高P連でも大会や会議が軒並み中止となり、令和2年度は会員が顔を合わせる機会ほとんどあ

りませんでした。そのような中、昨年6月、学校の授業が再開されるタイミングで、各単位PTAの年度末・年度始めの活動状況を調査し、それぞれの対応や活動計画に生かしてもらおう取組を行いました。

できるだけ早く

本県では例年5月末に総会、研究大会、第1回の委員会を1泊2日で開催していますが、令和2年度は書面総会のみで、他の行事は中止となりました。400から500

名の会員が集い、総会や研修のみならず、新たなメンバーの顔合わせの機会、貴重な情報交換や交流の場がなくなったことは、大変残念なことでした。そのような中、新年度の体制となった役員の中から、この状況下、各単Pや地区会はいずれも手探り状態であるため、困っていることは何か

を、できるだけ広く生の声を聞いて、できるだけ早く参考となる情報を提供しようと、調査が実施されました。

素早いレスポンス

調査内容は、第1に例年行っている活動をどうしているか、第2にコロナ禍に対応した新たな取組、第3には当面の課題や提言等の3点について全10項目に及びました。アンケートの発出から回答、集計、フィードバックまで、わずか1週間余りでできたことは、電子メール等の情報環境のおかげもさることながら加盟全校の協力があつたことで、素晴らしいレスポンスに驚いたところでした。

関東地区

千葉県立千葉南高等学校

新型コロナウイルスに負けない! あきらめない!

令和二年度は、新型コロナウイルスに始まり、新型コロナウイルスで終わると言っても過言ではないほどの異例の年となりました。

そのような状況の中、本校は、「新型コロナウイルスに負けない! あきらめない!」の合言葉のもと、感染症予防に取り組みながら、学校が丸となって教育活動を進取果敢にチャレンジして参りました。

新型コロナウイルス感染症予防

臨時休校中、本校では飛沫拡散防止のため、教室に教壇と生徒の席を



仕切る透明のビニール製シートを取り付け、生徒が安心して授業が受けられるよう準備をしました。また、生徒たちは、スマホアプリ「クラッシー」を活用した毎朝の体調報告、登校時には、昇降口前水道での手洗い、昼食時は、前を向いたままで、「寂しいけど 無言でこはん」等の感染症予防対策に真摯に取り組みました。

コロナ禍での

魅力ある学校づくり

体育祭は、種目の精進やルールの変更、手洗いや消毒の徹底により実施することができました。また、中止となったかな祭(文化祭)も、フラッグコンテスト(クラス旗コンテスト)として復活させました。



部活動では、美術部が、近隣の千葉響、仁戸名特別支援、袖ヶ浦特別支援、川戸中、川戸小学校に作品を展示させていたことで交流を行いました。また、例年、地域の敬老会等でボランティア演奏を行っている吹奏楽部は、演奏曲をCD「コ

コロナ禍での社会貢献

二学期末には、本校を会場に献血を行い、冬場、そしてコロナ禍で不足している献血活動に学校あげて協力しました。新聞に、「続く献血控え・千葉南高『命のリレー』生徒・職員ら八十人協力」と報道されました。



アンケート用紙と集計結果

要望活動にもつながる

調査結果では、気になるのは他校PTAの動向のようで、各種行事開催の可否、会報の編集発行計画等は参考になったとの声をいただきました。会員への連絡手段については、39%が学校の連絡システムに乗せてもらう形で、それ以外は紙媒体

以外に情報発信の手段を持っていないというの意外な盲点でした。消毒液や検温器具の購入支援やオンライン会議の開催方法は、活動内容を模索していた単Pの参考となるものであったようで、自宅学習の生徒たちに向け、オンライン筋トレ・ストレッチ講座を

配信するユニークな取組もありました。また、オンライン授業を実施しようとしても、学校のICT環境があまりに立ち後れているという声が多数寄せられ、早期の整備充実を図るよう県教育委員会への要望活動を行うところまで発展しました。



県教育長に要望を手渡す黒森会長(右)

コロナ禍でのPTA活動

冬場の感染症予防・リスク軽減のために、PTAから学校の全教室・特別教室等に加湿器が寄贈されました。生徒の感染症予防に有効に

活用させていただいております。

また、本校PTAは千葉地区理事校として地区研修会を開催しました。感染症対策、県警「あおぼーし」の講

演会、フルート演奏のクリスマス会は、どれも参加の皆様から高い評価をいただきました。

おわりに

本校の取組「新型コロナウイルスに負けない!あきらめない!」は、千葉県教育委員会の「魅力ある学校づくり大賞」において、優秀賞を受賞しました。

千葉南高校は、このコロナ禍においても、感染症予防に徹底的に取り組みながら、生徒、職員、保護者、地域が一体となつて教育活動を推進することができました。今後も、

皆様からの支援を受けながら、千葉南高校の校風を生かした魅力ある学校づくりに取り組んで参ります。

(校長 富田 昌宏)

東京地区

東京都公立高等学校PTA連合会

コロナ禍での1年を振り返り

広報誌の活用

今年度を振り返りますと、幕開けは緊急事態宣言下、生徒達は学校に行けず、単P活動も出来ず、都高P連も役員会はZoomを使って会議を行い今後の活動について話し合うことぐらいいしかできませんでした。その後も、運営委員会4回全都会長会2回は全てZoomで実施し、例年どおりの活動ができないそんな異例な一年でしたが、結果を出すことができた活動に広報誌の発行があります。

調査広報委員会では、コロナ禍な時だからこそ発信できることをコンセプトに話し合いをしている際に「Zoomの会議



が増えたけど意外と皆さん会議にスムーズ入れないですよ」ということがきっかけとなりPTA活動のIT化を身近にする特集を組んだらどうかということになりました。会報誌「とこっ

び」は第1弾広げよう!PTAネットワークとしZoomの使い方特集、第2弾Googleフォームを使ってPTA活動を円滑に進めるようGoogleフォーム特集、第3弾さあ次の世代へ!引き継ごうPTA活動校長先生インタビューとし例年どおり3号発行されました。

第1弾、第2弾の発行後はマニュアルとして使える、このように初歩的な説明書が欲しかった。Googleフォームを活用したPTA活動の報告から、今後の活動にヒントをもらえたなど現役PTAの方々から好評を得ることができました。第3弾は、まだ先が読めない状況が続く中で、次年度に向けたPTA活動が盛んになる時期だからこそ、

日頃から応援してくださる校長先生にインタビューを実施し、PTAに期待することをお話いただき、これからの活動が前向きなり、そして励みになる応援をいただきました。

この一年PTA活動もIT化が進みました。私たちも苦手意識を持たず逆に使いこなしていくくらしいの意識改革が必要です。今年度の会報誌の発行は例年とは違い、内海会長の令和2年度挨拶にもありました「ピンチをチャンスに」千載一遇のチャンスと捉え「新しい活動様式」へ変える一年の役割を果たしたのと言えそうです。

速報/会長選挙

令和3年2月27日任期満了に伴う会長選挙がFAXによる投票で実施

二期目の会長就任に際して



一期目は都高P内部の様子を見ながら改革を進めて参りましたが、コロナで思

されました。当日は立候補者が現会長内海会長だけでしたので信任投票となり、投票の結果、内海会長の再任が決定しました。例年どおりの投票方法ができない中での選挙はとても難しく動画配信による立候補演説・応援演説など利用し投票当日を迎えました。内海会長に再任された今のお気持ちを聞きました。

うように進められず時間ばかり無駄に過ぎてしまいました。二期目にあたり、積み残しを速やかに片付けて、次のステップに着手するつもりです。様子見は終わっているの、期初から全力で改革を進めたいと思います。引き続き皆様と情報交換させてもらいながら、アドバイスを含めてお力添えいただきますよう宜しくお願いいたします。

コロナ禍の一年で価値観にも変化がありました。次年度もwithコロナからポストコロナへ変化していく社会の状況を捉え進化する都高P連でありたいです。

東海地区

静岡県公立高等学校PTA連合会

コロナ禍で やってみたこと 気づいたこと

県高P連事務局

年2回発行しています
県高P連会報は、例年、県・東海・全国大会の総会・研修会の報告を掲載していますが、昨年は新型コロナウイルスの影響で、すべて中止となり記事がなくなってしまうました。空いてしまったスペースを何かに生かせないか。コロナ禍は、普段記事にできないこと、伝えたいこと、会員の皆さんが知りたいことなどについて改めて考える良い機会となりました。

9月発行第1号は、『高P連プレイバック』と題して、全国・静岡県のPTA組織がどのようにして結成されたか。今の保護者の高校時代に、PTAではどのような話題や課題があったかを振り返ることにしました。
生徒急増期に対応するための新設校の設置や施設改修などの問題、生徒の飲酒・喫煙、二輪車事

故、男女交際などの問題、特に深夜放送が今のネットの長時間使用による睡眠不足の原因になっていることと似ていることが印象的でした。

また、会員の情報交換・共有の場である県全体・地区研修会ができなかったため、1月発行第2号では各単位PTAの現状や課題、コロナ禍でどのようなことに困っているかなどについてアンケートを行い、次年度の計画立案に役立てていただくことにしました。

最も多かったのは、活動が中止または縮小されたことによる次年度役員への引継ぎが難しくなったこと。次に、会員・役員の情報共有の手段として、メール・SNS・ホームページなどのICTを積極的に活用したことがあげられていました。

県立清水特別支援学校

本校は、平成22年4月、県内21番目の県立特別支援学校として開校しました。『ともにあゆみ』ともにかがやく』を学校教育目標とし、小学部、中学部、高等部計232名の児童生徒が明るく、元気に学習しています。今年、新型コロナウイルスのため、年間を通じた学習や本校の特色である地域の方々と触れ合う活動が一学期は実施できませんでした。しかし、常に前を向き、アイデア一



杯の職員の改善で現在は今までの活動に加えた新しい取組を行っていきます。地域ボランティアの皆さんと共に花植えや清掃活動、作業製品の改善、ラジオ体操の定着、美術作品の展示等、地域の皆さんと一緒に進む本校の特色が更に色濃くなりました。交流教育では、地域の小中学校や高等学校と積極的な関わりや活動を行う等、共生共育と共に児童生徒の社会参加や自己実現を支援する教育に取り組んでいます。今後も三元気、笑顔、地域」を柱とし、一人一人の可能性を見付け、最大限に広げる学校を地域の皆さんと一緒に作っていきま

す。今後の動向については、本校ホームページを是非ご覧下さい。

(校長 成岡裕司)

新型コロナウイルスにより活動自粛が多い中、本校PTAでは安全に考慮しながら出来る範囲で行おうとなりました。PTA総会は書面決議が主ですが、役員、委員のみ参加のミニ総会として開催しました。

活動を見つめ直す時間、役員の負担や委員会

活動の効率化など非日常はチャンスであると捉え、無駄を省き、さらにPTA活動の理解を得るための工夫として、ホームページ内にPTA欄を作成しました。また、PTAだよりの改編をしたり、有料バスでの活動を停止し、バザー要素があるリユース会を開催したりしました。事業所見

学は学習会形式にし、映像で紹介しました。本校で大切に行っているお茶摘み体験は参加人数を縮小して無事行うことができました。今後もニーズに合った活動を模索し繋いでいきます。困難に対応できる組織力を笑顔と共に増やしていきます。

(PTA会長 名倉美紀)



中国四国地区

広島県高等学校PTA連合会

コロナ禍での一年を振り返る

令和二年度、中国・四国地区高等学校PTA連合会（以下、中・四国高P連）中四国九県により構成）の会長を広島県が受け、広島県に事務局が置かれ、一年間、中・四国高P連の活動に携わってきました。

六月の総会・第一回理事会・会長会・事務局長会や十一月の第二回理事会・事務局長会は滞りなく開催することができ、安堵いたしました。

特に十一月の会議では、研修として、コロナ



6月 中四国総会・理事会



11月 中四国理事会・研修

禍の地場産業活性化に少しでも貢献できるような、広島県の企業見学を行わせていただきました。

三月の事務局職員連絡会議は、年に一度の九県連の職員が出席する会議で、再びの他県の緊急事態宣言発令など、開催を見合わせておりましたが、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底し無事に開催の運びとなりました。

九県連も試行錯誤の一年間を過ごされたようだが、なかなか活動できない事業に工夫を凝らしながら、企業や学校で多くなった、リモート研修会を開催された県連や、研

修会を開催するにあたっての新型コロナウイルス感染症防止の徹底強化の県連がありました。

七月の中国・四国地区高等学校PTA連合会大会広島大会の中止や、第七十回全国高等学校PTA連合会島根大会の延期など、多くの会員が集まる大会は開催することができませんでしたが、令和三年度にはこの状況が好転して、第六十三回中国・四国地区高等学校PTA連合会徳島大会と第七十回全国高等学校PTA連合会大会島根大会が是非開催できることを祈念しております。

さて、広島県高等学校PTA連合会は、県内百十一校の公立高等学校（県立中学校、中等教育学校、特別支援学校を含む）のPTAの会員で組織されています。広島県内を八地区に分けて各地区連合会をおき、県連合会以外に各地区のPTA活動も活発に行われています。広島県高等学校PTA連合会（以下、広島県高P連）では、その地区から

選出いただいた常任委員で、五つの委員会（総務、研修、調査広報、健全育成、進路対策）を構成し、各委員会が活動しています。

令和二年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、各事業は軒並み中止となりました。新年度の定例総会は、初めて書面決議を行いました。

令和二年度はどの県連も総会の開催には四苦八苦されたことと思います。書面決議に関して、役員（副会長、幹事、監査、常任委員）に文書で書面決議についての了承をいただき、次に各単位PTAに承認をいただき、書面決議を行いました。

その後、対象者が少ないこともあり、感染対策を強化し、常任委員会は開催しましたが、例年どおり多くの出席者があり、コロナ禍の時でも、単位PTAだけではなく、広島県高P連の活動にも高い関心を持っていた、と感じました。春の「緊急事態宣言」が発令された時点で、その後の大きな事業の第一

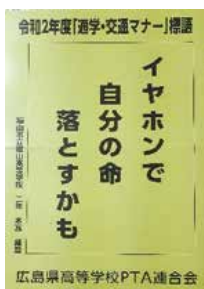
回単P会長研修会、国立大学進学説明会、中四国高P連大会広島大会、全国高等学校PTA連合会大会島根大会は中止、延期となりましたので、各委員会の活動も縮小しておりましたが、総務委員会は、十二月に広島県教育委員会へ要望書を提出、意見交換会を開催することができました。

研修委員会は、企画・運営に携わっていた第二回単P会長研修会を年明けの一月に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止となりました。開催できず、委員は残念でならなかったと思います。

調査広報委員会は、例年の県外校への視察を、今年は十一月に県内校の視察へと変更し実施しました。年三回の会報発行は事業が中止となったため、掲載記事を変更しましたが、二回までの発行は無事終了し、三回目は三月末に発行予定です。

健全育成委員会は十一月の「全県一斉あいさつ運動」の実施と、あいさつ運動ポスター原画募集と配布や、「通学交通マナー標語」募集と配布を行いました。

それぞれ生徒さんから、多くの応募がありました。



進路対策委員会は、中止となった進学説明会の際に御講話いただく予定だった、学校法人河合塾広島校校長高木里香様に、二回目に発行した会報に「これからの大学入試について」と題して寄稿いただきました。

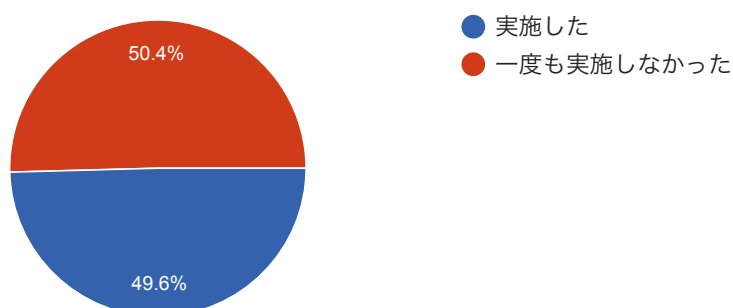
コロナ禍に対応した新しいPTA活動の形も大切ですが、一日も早く、新型コロナウイルスが終息し、マスクをはずして、コミュニケーションをとりながら、今までのPTA活動も再開できることを願っております。

全国高等学校PTA 連合会 令和2年度 教育活動・PTA活動アンケート

2,249件の回答

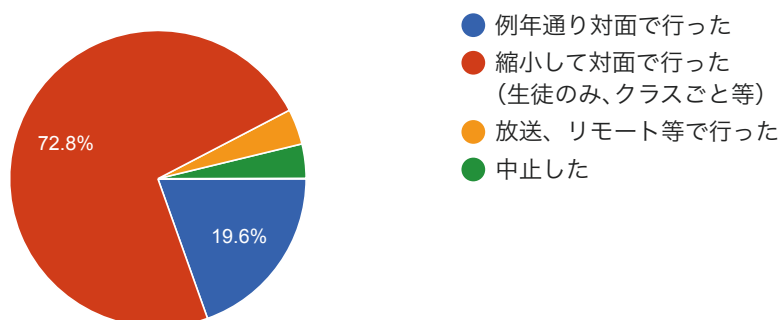
教育活動について1 リモート授業の実施について

2,249件の回答



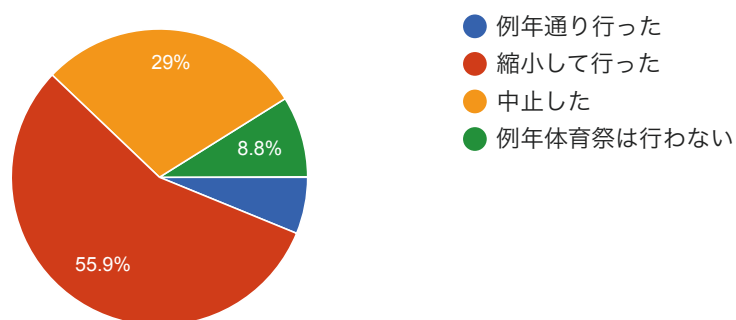
教育活動について2 入学式について

2,249件の回答



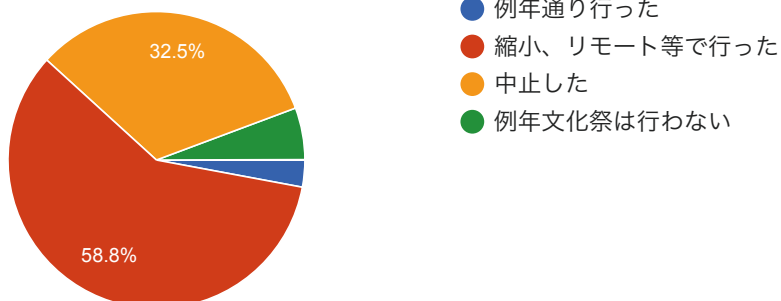
教育活動について3 体育祭について

2,249件の回答



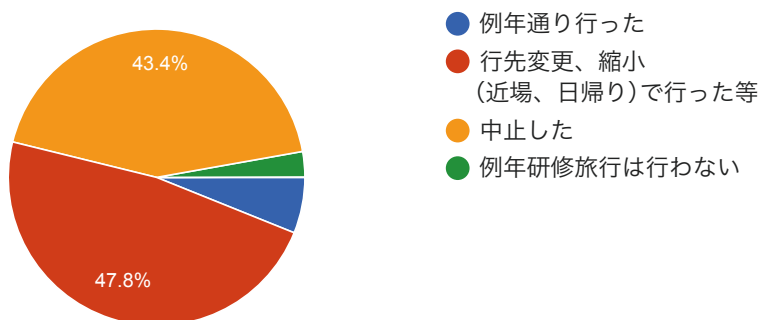
教育活動について4 文化祭について

2,249件の回答



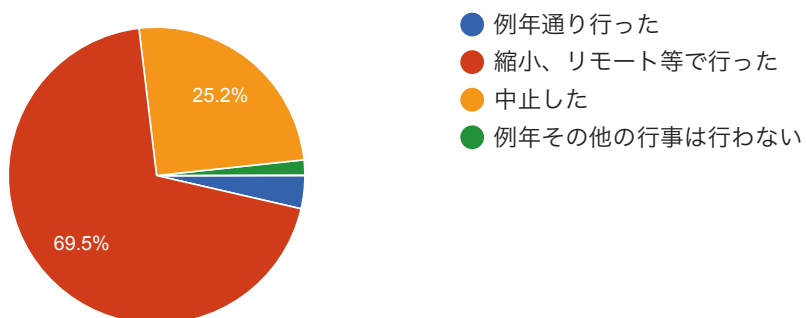
教育活動について5 研修（修学）旅行について

2,249件の回答



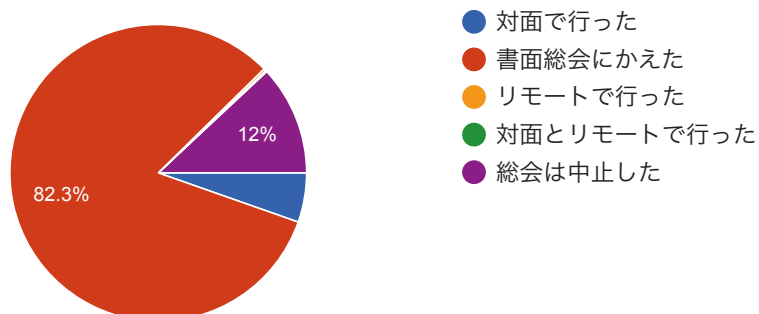
教育活動について6 その他の学校の行事について

2,249件の回答



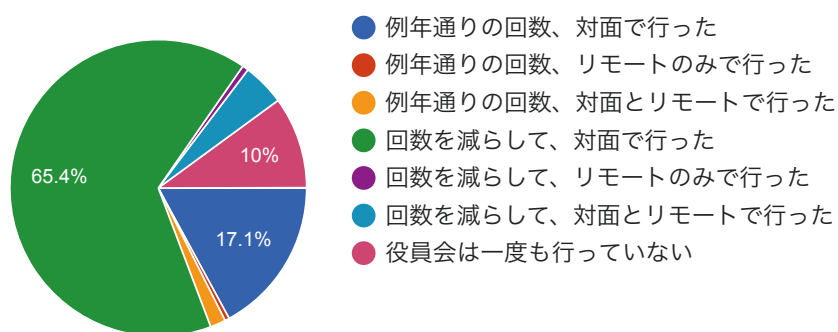
PTA活動について1 PTA総会について

2,249件の回答



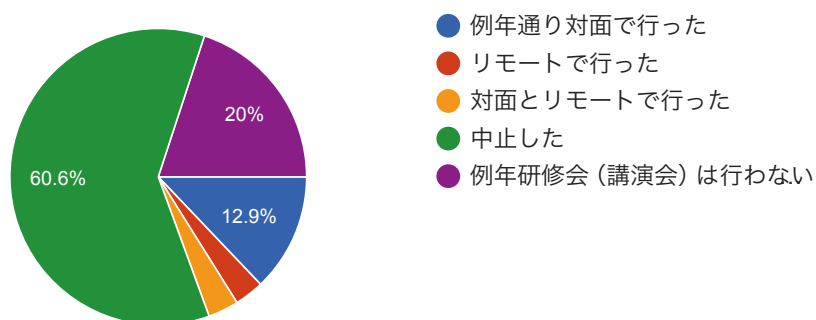
PTA活動について2 役員会について

2,249件の回答



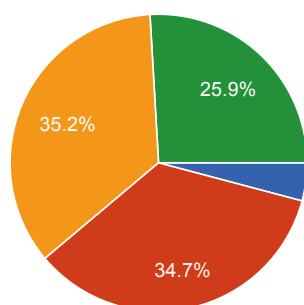
PTA活動について3 研修会（講演会）について

2,249件の回答



P T A活動について4 学年行事について

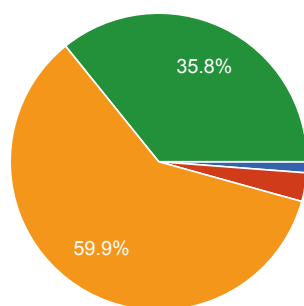
2,249件の回答



- 例年通り行った
- 縮小して行った(人数、内容等)
- 中止した
- 例年学年行事は行わない

P T A活動について5 P T A研修旅行について

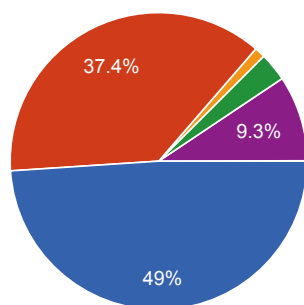
2,249件の回答



- 例年通り行った
- 縮小して行った(人数、行先等)
- 中止した
- 例年P T A研修旅行は行わない

P T A活動について6 広報誌について

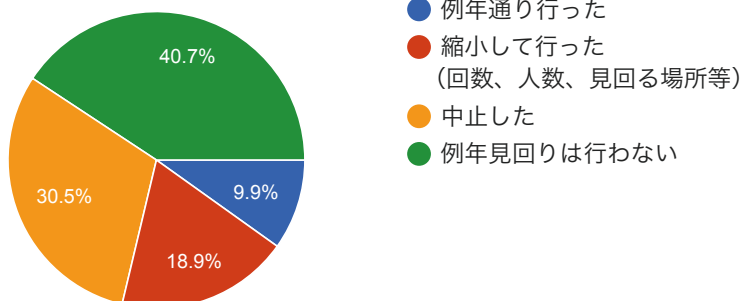
2,249件の回答



- 例年通り発行した
- 発行回数・ページ数を減らした
- 発行回数・ページ数を増やした
- 発行を中止した
- 例年広報誌は発行しない

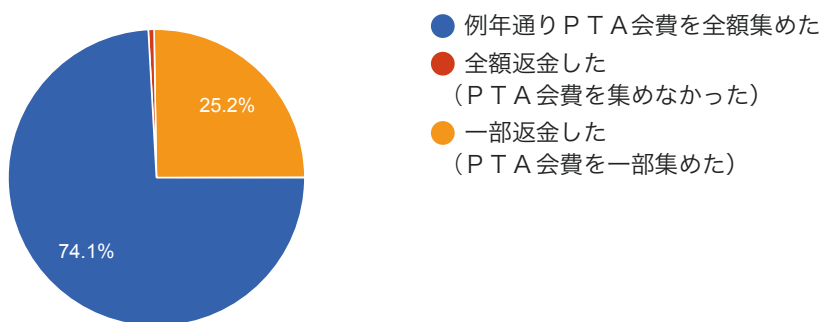
P T A活動について7 健全育成の見回りについて

2,249件の回答



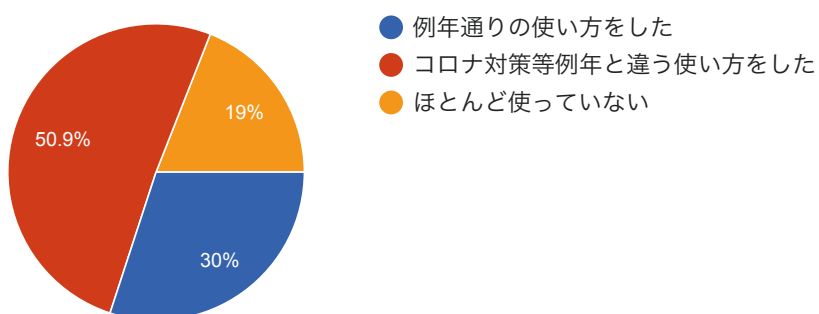
P T A活動について8 P T A会費について

2,249件の回答



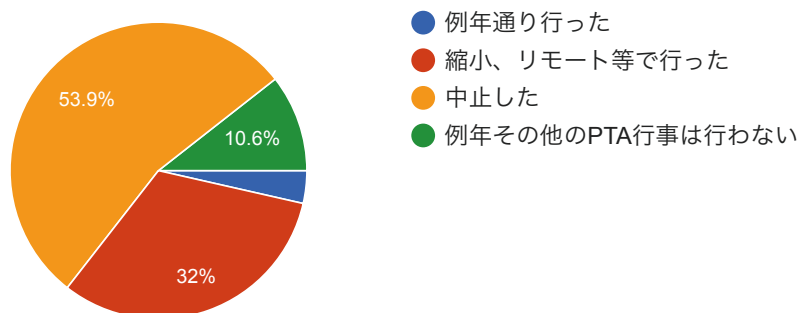
P T A活動について9 P T A会費の使い方について

2,249件の回答



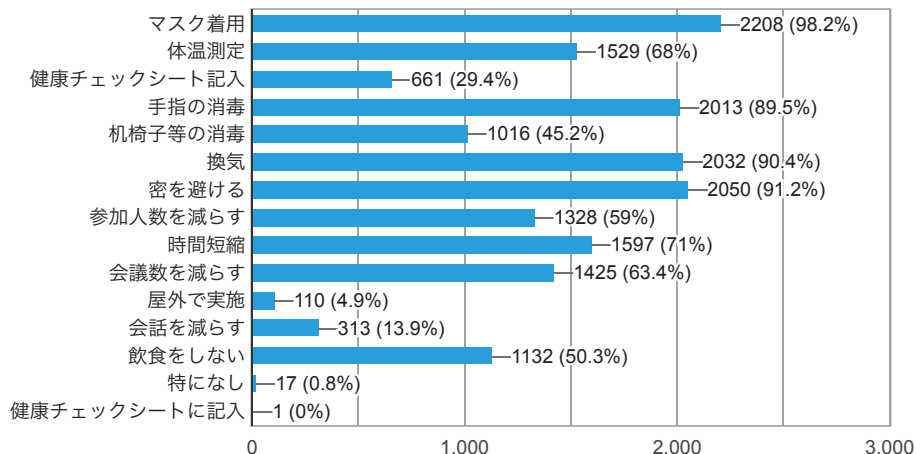
PTA活動について 10 その他のPTA行事について

2,249件の回答



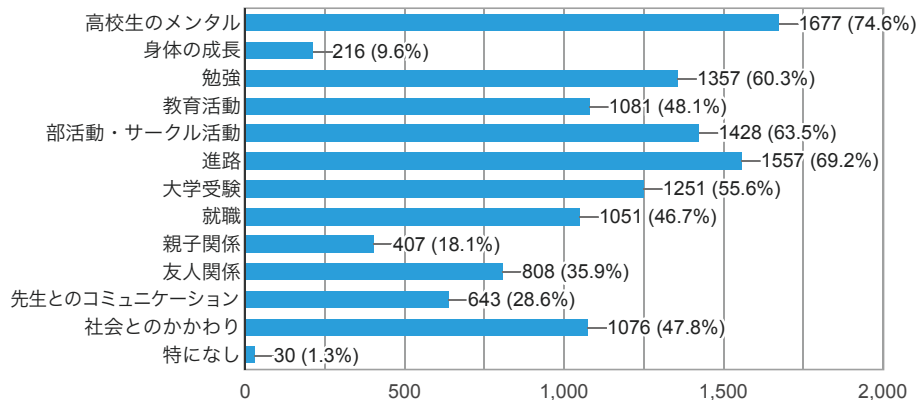
今年度の教育活動、PTA活動の時に気をつけたこと（複数選択可）

2,249件の回答



高校生について、いま心配なこと（複数選択可）

2,249件の回答



第70回全国高等学校PTA連合会大会島根大会(ご案内)

ご縁(えん)づくり ～新たな明日への礎のために～

第70回全国高等学校PTA連合会大会島根大会は、「ご縁(えん)づくり～新たな明日への礎のために～」をテーマに据え、島根県松江市を中心に4市で開催いたします。

本大会は、令和2年8月に開催予定でありましたが、新型コロナウイルス感染症流行のため、令和3年8月に延期となりました。文部科学省は、グローバル化の進展、SNSによるコミュニケーション形態の変化、AIによる社会イノベーションなど社会環境の変化に対応するために、令和4年度から新たな学習指導要領を実施いたします。日本列島各地では、少子化が進み高校の学校再編制が進むなど、今日高校教育を取り巻く環境は様々な課題に直面しています。今一度全国の会員の皆さまが集い、このような課題を協議できる機会が持てればと考えます。

コロナ禍での大会とはなりますが、参加者・運営スタッフ全員の安全を図りながら大会運営に務めて参ります。大会を通して皆さまが「縁結びの地 島根」で出会い、話し合い、交流の輪を広げていくことが、子どもたちの健やかな成長につながることを考えております。多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。ここにご案内申し上げます。

大会シンボルマーク



(作品の趣旨)

島根県の伝統工芸である勾玉(まがたま)、「神話の国」出雲地方に伝わる「因幡の白兔」を描き、過去から未来へと伝わる島根の伝統を表現しました。

また、叶結びを大きく描き、ひもを円に形作ることで、今回のテーマ「ご縁づくり」を表現しました。

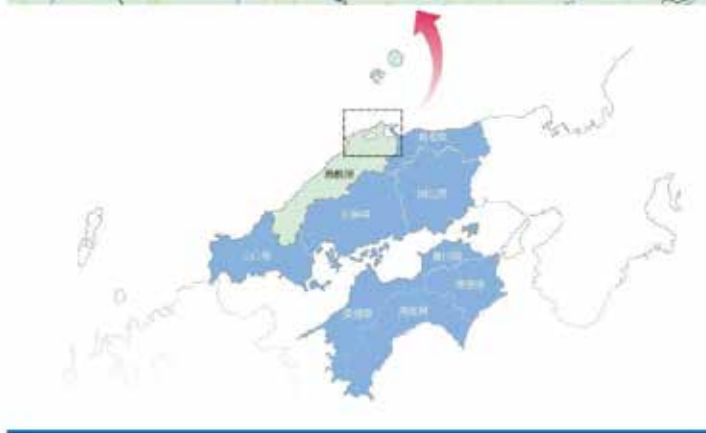
大会ポスター



(作品の趣旨)

画面真ん中に向かって手を伸ばしていく構図にすることで「全国からPTA役員が集まり、縁を結ぶ」ことを表しました。

稲佐の浜に夕日をバックとし、雲の中に松江城、出雲大社を描くことで島根県の名所のいくつかが一目でわかるようにしました。また、県花の牡丹で華やかさを添えています。



島根大会専用HP

<http://mtg.shimakp.jp>



第1日目 分科会（8月24日（火）13：10～16：40）

分科会	会 場	テーマ・サブテーマ	内 容
第1分科会	松江市 総合体育館 (松江市)	「Withコロナにおける学校教育の形と これからの学びのデザイン」 ～予測不可能な未来を生きていくには～ 企画 株式会社ベネッセコーポレーション	今回のパンデミックにより「学び」の環境が大きく変わった。新教育課程で説く「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力」育成の重要性の高まりを鑑み、教育制度の解説と模擬授業による「困難な時代を生きていくために必要な学び」を体感する機会とする。
第2分科会	島根県民会館 (松江市)	「正しく怖がる」で創るネットとのご縁 ～SNS・スマホで絶対に失敗しない方法とは～ 企画 グリー株式会社	現代社会ではインターネットは不可欠であるが大きなリスクもある。「思考力・判断力・表現力」の観点に基づき、「ネットで絶対に失敗しない方法」「炎上させてしまったときの対処」を学び、ネット社会と教育を考える機会とする。専門知識もメモ取りも不要。
第3分科会	くにびきメッセ (松江市)	「地域で育む未来への学び」 ～教育の魅力化でひろがる新たなご縁～	子どもたちの個性、能力、豊かな心を育むためには地域社会との多様な出会いからの学びはとても貴重である。島根県教育委員会が取り組む「教育の魅力化」の成果に基づき、「地元の高校」の意義とPTAの役割、パンデミックに対する連携を考える機会とする。
第4分科会	安来市 総合文化ホール (安来市)	体験でつなぐ人々のご縁 ～「人生100年時代」「不確かな時代」を 生きるためのキャリアデザイン～	従来のライフステージモデルは通用しない現代社会。自らのキャリアを主体的につくり、心豊かに生きるための学びには「教育」「多様な働き方」「経験や人的ネットワーク」が必要とされる。体験や出会いからのキャリア形成をグローバルな視点から考える機会とする。
第5分科会	三刀屋 文化体育館 (雲南市)	グローバルにつながる教育とのご縁 ～SDGs(持続可能な開発目標)と 新たな明日への礎のために～	国連は2015年にSDGs(持続可能な開発目標)として、現代社会のグローバルな課題の解決に向けた17の目標を設定した。この課題解決に向けて、日本や各国の教育における取り組みをグローバルな観点から考える機会とする。
第6分科会	出雲市民会館 (出雲市)	未来社会に対応するための教育とのご縁 ～「主体的・対話的で深い学び」や 「学校と社会の連携・協働」のあり方～	今回のパンデミックによって、新学習指導要領の「主体的・対話的で深い学びの実現」と「社会に開かれた教育課程の実現」の取り組みが困難になりつつある。この危機感を共有し、「新しい生活様式」のもとのAI導入等も踏まえた未来の教育を考える機会とする。
アトラクション		各分科会場ごとに、開始式においてアトラクションを予定しています。ただ今調整中です。内容は、今後大会HPでお知らせいたします。	

第2日目 全体会（8月25日（水）9：10～12：40）

全体会は、お手持ちのモバイルでも視聴できるようにライブ配信を行います。全体会の参加については、Web参加申込時に会場参加か会場外でのインターネット視聴参加かのどちらかを選択していただきます。密の回避のためにご協力をお願いします。

次第	会 場	視察研修
開会式 ①参加連合会・協議会紹介 ②式典・表彰式 記念講演 閉会式	くにびきメッセ(松江市) 松江市総合体育館(松江市) ※くにびきメッセ会場と松江市総合体育館会場とで中継による映像を相互配信する予定	全体会開始時刻頃から、Wi-Fiを備えた貸切バスを用意いたします。県内各所(主に東部地区)を巡る研修を行いながらお手持ちのモバイルを通じて全体会のライブ中継を視聴できます。申込みは、Web参加申込と同時に。ご利用ください。詳細は、今後の大会HPまたは各学校に配付する予定の大会案内をご覧ください。

記念講演



講演「小泉八雲がみた日本の魅力 ～五感でとらえた明治日本のすがた～」
講師 小泉 凡 氏 小泉八雲記念館館長

公演 小泉八雲朗読のしらべ「八雲彷徨～神々の国の首都 松江から～」
朗読 佐野 史郎 氏 俳優
演奏 山本 森司 氏 ミュージシャン

「八雲のオープン・マインドなまなざし」が現代社会の文脈で再評価され、新しい文化資源として文化創造に活かされています。この朗読パフォーマンスもその大きな潮流の中に位置づけることができるでしょう。
生涯、語り部と深く交わり作品を紡いだ八雲。その深遠なイマジネーションの世界を体感してください。

小泉 凡

皆さまのご参加を心よりお待ちしております



島根県立浜田商業高等学校「大蛇」の演技(2013年 中・四国地区高P連大会島根大会)

新型コロナウイルス感染症の状況によっては、
日程・内容等を変更する場合があります。

全国高等学校PTA 連合会賠償責任補償制度のお知らせ

あなたの学校も加入しませんか？
全国加盟高校の2校に1校が加入しています。

掛金

年間400円（保険料391円＋制度維持費9円）×生徒数

※補償開始日が令和2年4月1日の場合。補償期間中の加入については、月ごとに掛け金が減額となります。

補償期間

令和3年4月1日～令和4年4月1日

補償の範囲と支払済高額事故事例

＜生徒もしくはPTAに過失があった場合が対象となります＞



補償の範囲	補償限度額	事故発生 件数割合
1. 生徒の行為に起因する賠償責任 (生徒個人の賠償責任)	対人・対物合算 ^(注) 1事故1億円 自己負担額1事故5千円 (注) 対人事故・対物事故合算して1億円が限度となります。	99%超
2. PTA活動の遂行に起因する賠償責任 (PTAの賠償責任保険)	対人 1名5千万円・1事故5億円	1%未満
	対物 1事故5千万円 自己負担額1事故1千円 (注) 対人事故・対物事故それぞれに適用されます。	
	保管物 加害者1名 10万円 保険期間中 500万円 自己負担額1事故5千円	

年度	支払金額(千円)	事故内容
H19年度	87,915	無灯火の自転車歩道を走行中、後ろから人に追突し転倒させ、脳挫傷により要介護状態となり、死亡させた。【過去最高支払金額】
H23年度	48,580	自転車で歩行者と衝突し、脳挫傷を負わせ、死亡させた。
H24年度	40,210	ゴルフの練習中にゴルフクラブが友人の左目にあたり失明。
H26年度	26,250	自転車で歩行者に後ろから衝突し、脳挫傷を負わせ、死亡させた。

☆上記のとおり自転車による人身事故が高額支払いになる傾向がありますが、自転車事故に限らず国内における事故を2.4時間、幅広く補償しております☆

詳しくは、「全国高P連賠償責任補償制度」手引き・チラシをご覧ください。
(各学校へ1月下旬にお送りしています。)

●制度についてのお問い合わせ窓口

一般社団法人 全国高等学校PTA連合会
東京都千代田区神田佐久間町2-1
奥田ビル301号
TEL.03-5835-5711

●引受保険会社

引受幹事保険会社 東京海上日動火災保険株式会社 TEL.03-3515-4133
(担当：公務第二部 文教公務室)
共同引受保険会社 AIG損害保険株式会社 TEL.03-6848-8480
三井住友海上火災保険株式会社 TEL.03-3259-4061
損害保険ジャパン株式会社 TEL.03-3349-9588

AIG損害
一般社団法人 全国高等学校PTA連合会後援
AIG 高校生外交官プログラム
(参加費無料)
<http://www.highschooldiplomats.org>

「育てたいのは、
子供たちの未来。」

私たちはAIG 高校生外交官プログラムを協賛しています。

AIG損害保険株式会社
tel:03-6848-8500 <https://www.aig.co.jp>

立ちどまらない保険。
MS&AD 三井住友海上

三井住友海上の
安心

GK

クルマの保険
住まいの保険
火災の保険

www.ms-ins.com

挑戦の
数だけ、
保険が
ある。

To Be a Good Company

TOKIOMARINE
NICHIDO 東京海上日動

SOMPO
ホールディングス
安心・安全・健康のテーマパーク

損保ジャパン

損保ジャパンは
SOMPOホールディングスの一員です。
損害保険ジャパン株式会社

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
TEL.03-3349-3111
<https://www.sompo-japan.co.jp/>

